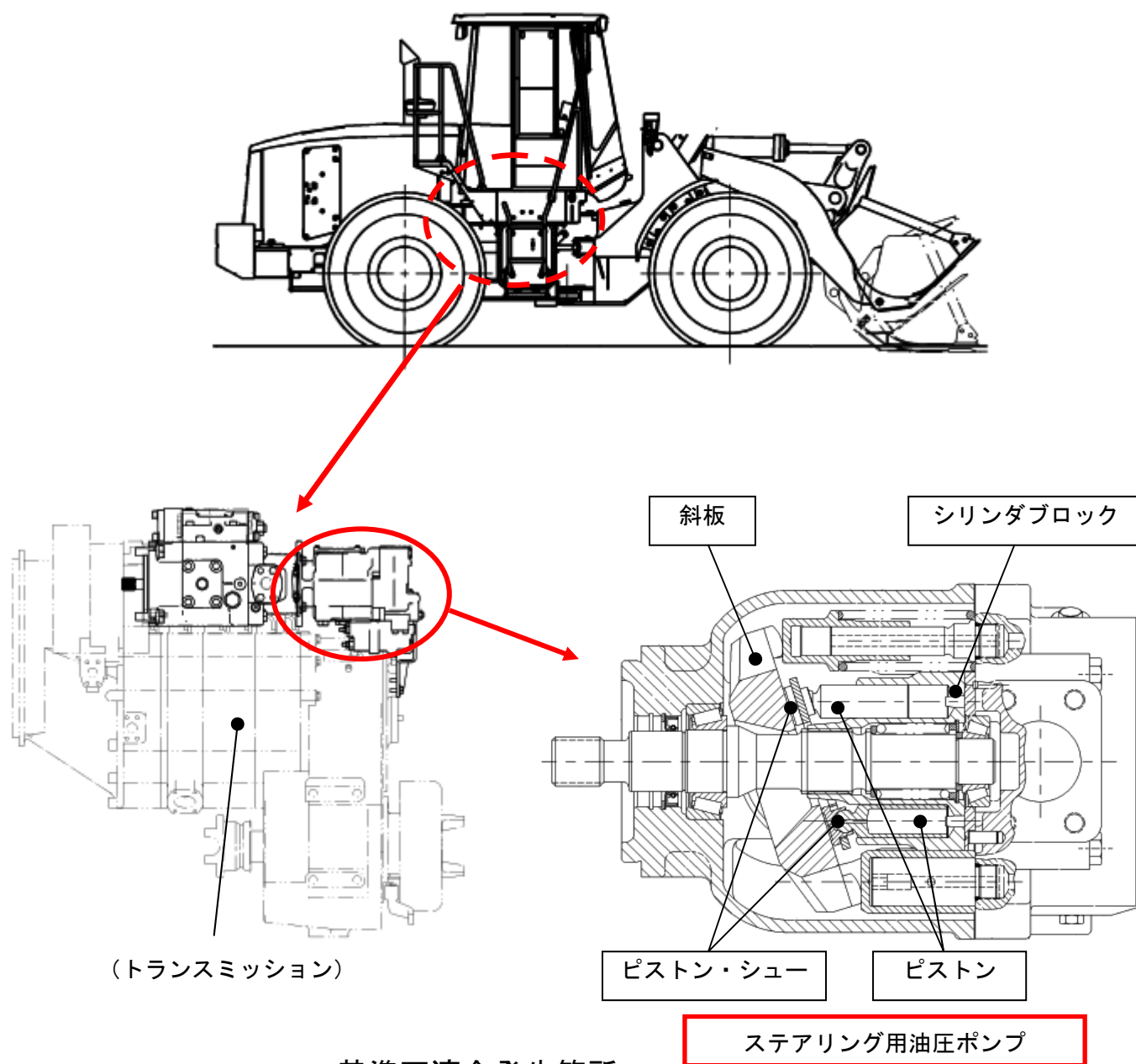


－ 改善箇所説明図 －



基準不適合発生箇所

□は交換する部品を示す。

ステアリング用油圧ポンプにおいて、作動油の吐出量を調整する斜板が、熱処理不良により表面硬度が低くなっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、斜板の表面が過剰に摩耗し、斜板にできた摩耗痕にピストン・シューが噛み込み、油圧ポンプの作動が停止して操舵ができなくなる。

改善措置の内容

全車両、ステアリング用油圧ポンプを良品に交換する。

識別：改善実施済車については、キャブ後面ガラス左下、又は、キャノピー左支柱下に No. 3078 のステッカーを貼付する。